

札幌農学同窓会関西支部 第19回市民公開フォーラムのご案内 ver.2

札幌農学同窓会関西支部では、支部開設以来、「食育」をテーマとした「市民公開フォーラム」を開催してきました。

これまでは主に、「子供の食育」にフォーカスしてきましたが、今年は「大人の食育」に焦点を当てます。また開催地も、これまでは大阪府南部でしたが、今年は豊中市で開催します。

2025年11月23日(日)13:00～、豊中市立文化芸術センターにおいて、第19回市民公開フォーラムを開催します。今年のテーマは、はじめよう「大人の食育」新習慣 キノコと共に健康長寿 です。

基調講演は、ヤマブシタケの抗認知症物質を発見された静岡大学特別栄誉教授の河岸洋和先生から、「ヤマブシタケの脳機能改善に関する研究」という演題でお話しいただきます。河岸先生は、1979年に北海道大学農学部農芸化学科をご卒業され、1985年に北大農学博士を取得されました。そして2021年、「キノコの生理活性物質の研究」が評価され、紫綬褒章を受賞されました。

キノコには、免疫力を活性化するだけでは、脳機能を活性化する力があることが、河岸先生の研究で明らかになりました。河岸先生から、超高齢化社会において、最も懸念される「認知症（脳機能の低下）」の治療方法について、話をさせていただきます。

皆さま、ぜひお誘い併せて、ご参加ください。

日時:2025年11月23日(日) 12:30～16:30

会場:豊中市立文化芸術センター 多目的室

(アクセス)大阪府豊中市曽根東町3-7-2 阪急宝塚線曽根駅 東へ約300メートル 徒歩約5分

次第:

12:30 受付・展示見学開始

13:00 開会・挨拶

13:10 基調講演

(演者)静岡大学特別栄誉教授 河岸洋和 先生

(演題)ヤマブシタケの脳機能改善に関する研究

(要旨)ヤマブシタケはベニタケ目ハリタケ科ヤマブシタケ属のキノコ。私たちは1990年から、ヤマブシタケの抗認知症効果に関する研究を始めました。私たちの研究を契機に、現在では世界中でこのキノコの栽培や機能性食品としての開発が進んでいます。本講演では、このキノコの抗認知症効果に関するこれまでの経緯と最新の結果を紹介します。

14:20 パネルディスカッション

(ファシリテーター)(株)発酵食堂カモシカ代表取締役 関 恵 先生

(パネリスト)静岡大学特別栄誉教授 河岸洋和 先生、(株)岩出キノコ研究所 小堀 一 先生、相愛大学教授 杉山 文 先生、(株)深山農園代表取締役 深山陽一朗 先生

16:30 閉会

17:00 懇親会

会場:イタンクリップ

<https://tabelog.com/osaka/A2706/A270601/27108325/>



参加費: ¥4,000(懇親会参加者のみ)

特典:退出時に、おみやげ(キノコ、麴納豆)を参加者全員に無料進呈します。

申込締切:2025年11月16日(日)

申込方法:

北大同窓生の方は、下記のURLにアクセスしてお申し込みください。(赤字の項目は、必須です。)

URL

<https://docs.google.com/forms/d/14FTVTUpVtp3duRitLMFzWV01qbn1tLmOuMikEPgdM4/edit>

